

し や き よ う

社 協 かみかわ

No. 56

2015年2月発行

阪神淡路大震災1.17のつどい 20年事業 災害ボランティア交流会



～地域福祉の情報紙～

主な記事

- 2ページ 歳末たすけあい募金のお礼と配分
- 3ページ 調理・配食ボランティアさん募集
- 4ページ 教育支援資金の紹介
- 5ページ 竹筒とろうそくのお礼

表紙より

長年にわたり、いろいろな方のご協力を得ながら、社協が竹筒やろうそくの提供をおこなってきたことに対し、この度、感謝状をいただきました。

～阪神淡路大震災 1.17 のつどい
実行委員会から～

2・3 月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

『歳末たすけあい募金』の結果報告

十月から十二月にかけて「歳末たすけあい募金」を実施いたしましたところ、たくさんの方々からあたたかい募金のご協力をいただき、厚く感謝いたします。

また十二月二十一日に、グリーンデルホールで行われた神河町文化協会の「クリスマスチャリティーコンサート」では、来場のみなさまにもたくさん募金協力をしていただきました。本当にありがとうございました。

お寄せいただいた募金は、当初の計画どおり、少しでも安心して新しい年を迎えていただくような活動にさっそく活用いたしました。

なお、区長さんはじめ世話人さんにおかれましてはお忙しいなか、区内の募金の取りまとめをしていただき、おかげをもちまして、活動に必要な財源である目標額に達しましたことを厚く感謝申し上げます。

募金総額
1,805,720円
(目標額 1,700,000円)

- ◆戸別募金 1,670,225円
- ◆個人預託 126,332円
中野 昇(刈)
神河町文化協会
神河町婦人共励会会員一同
【敬称略】
- ◆窓口募金箱 9,163円

「歳末たすけあい募金」のおかげで 明るい年末、年始！

みなさまにご協力いただいた「歳末たすけあい募金」は、いろいろな方々のために幅広く役立てられました。



◆ご自宅で介護が必要な方とその介護者への見舞品(71)

在宅で相当の介護が必要な方のお宅にお見舞品として、パジャマか布団乾燥機、食事券のどれかの希望をとり、年末にお届けしました。
見舞品のパジャマをお届けした際に介護されている方が「冬場は洗濯の乾きが悪いので、替えのパジャマがあるととてもありがたいです」と喜んでいただきました。

◆児童生徒就学援助費受給世帯への支援金(61件)

経済困難されている世帯の小・中学生の子どもさんに生活支援金として、お一人5千円を、そのうち卒業を迎える小学6年生と中学3年生には7千円を、民生委員さんを通じて保護者の方にお渡ししました。

◆ひとり暮らし高齢者等への年末大掃除サービス(18件)

年末の大掃除作業が大変なひとり暮らし高齢者や、体に重い障害がある方へ、窓拭きや庭木の枝切り、粗大ゴミの処分など、出来ない作業をお聞きし、それをシルバー人材センターに委託して実施しました。
利用者から、「きれいに窓ガラスを拭いてもらい、これですっきりした気持ちで新しい年を迎えられそうです。どうもありがとうございました。」と感謝の電話をいただきました。

◆幼児施設への絵本教材等の購入助成

神崎保育園と寺前保育所へ、読み聞かせの絵本や室内遊具の購入のための助成を行いました。先生から「子どもたちがさっそく喜んで仲良く使っています」との報告がありました。

◆『なかよしクリスマス会』と『子育てお楽しみ会』の開催

子育てグループ「きらっと応援団」との共催で、12月20日に、小さな子ども向けの楽しいクリスマス会を開催しました。

舞台上風の子劇団が、昔流行ったけん玉や竹とんぼ、お手玉遊びなどを披露すると、子どもたちはそれをとても新鮮なまなざしで見入っていました。

また、1月24日には、乳幼児とごのお家の方が集まり、楽しい人形劇を大人もいっしょになって楽しめます。

◆神河町共同募金委員会会計への繰り入れ

歳末たすけあい募金運動の実施主体である神河町共同募金委員会の活動にかかる経費に一部充てられます。

調理 ボランティア

グループで行います。
1グループ10名程度必要
です。
年間1回～2回の活動にな
ります。

大募集!!



配食 ボランティア

個人で行います。
自家用車を使用します。
活動回数はボランティアの
ご都合に合わせてます。

社協では、おひとり暮らしのお年寄りなどにお弁当をお届けし、お元気でられるか様子をつかおう『福祉給食サービス』を実施しています。

現在、この『福祉給食サービス』のお弁当を調理する“調理ボランティア”と、利用者にお弁当をお届けする“配食ボランティア”が不足しています。

『福祉給食サービス』は、見守りや安否確認が必要なお年寄りを住民が支える＜住民参加型福祉サービス＞の代表的なものです。私たちの町を誰もが安心して暮らせるささえあいの町にするために、ぜひあなたのお力をお貸しください。

詳しくは社協へ TEL 32-2303

「文字」でつながる心と心

要約筆記入門講座

初心者向けの
講座です。
お気軽に!

要約筆記とは、主に手話を使用されない聴覚に障がいのある方に、その場の音声を書いて伝える通訳です。1対1の会話から、会議や講演会等での伝達など様々な場面で役立っています。

日時 4月11日(土) 4月25日(土)
5月9日(土) 5月23日(土)
6月13日(土) 6月27日(土)

・全6回で各回とも
13時30分～15時30分

場所 市川町保健福祉センター

講師 要約筆記
ボランティアサークル
「㊤(まるよ)かんざき」



場所 500円(資料代6回分)

**問合せ
申込** 市川町社会福祉協議会
(TEL 26-1988)

新しい趣味づくりにて!

～アロマケア 講座を開講～



12月14日にアロマ健康サロンちゅうらの中田貴子氏を講師に、アロマ液の香りのテストをしたり、ペアの相手にアロマ液を使って実際にマッサージを行いました。
親子での参加もありリラックスした時間が流れるなか、香りが苦手な人でも自然のものから抽出している液なので、気にならなかつたなどの感想も頂きました。
※来年度も養成講座を開講し、趣味を活かしたボランティア活動になることを目指します。

“通帳やお金の管理”に不安のある方をお手伝いするサービスがあります

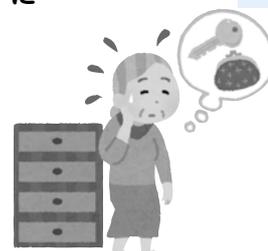


社会福祉協議会では、お金の管理がしにくくなった方の通帳や印鑑をお預かりし、定期的に必要なだけを出金してお届けします。あわせて家に届いた郵便物を一緒に確認し、支払いするサービスを行っています。

このサービスの詳しい内容について、本人、ご家族、どなたでもお気軽に社協へお尋ね下さい。

- ★このようなことを社協がお手伝いします！
- ① 社協が本人さんの通帳と印鑑を、責任を持ってお預かりします。
- ② 本人さんと相談しながら、通帳から定期的に必要なだけ出金し、自宅へお届けします。また、光熱水費や保険料などの支払いがあれば併せておこないます。

- ★身近にこんな方はいませんか？
- しまったはずの通帳やお金を探しまわることが何度もある方
- どれだけ使えばいいかの
- お金の計算がしにくくなった方
- 年金があるのに、本人のためにきちんと使われていないような方



対象となる費用

入学時に必要な入学金、制服代等の就学支度費や、在学中に必要な授業料、教科書代等の費用（貸付限度額や償還期間あり）

在学中の学校費用を借りたい方

👉 随時

現在、中学・高校3年生で進学希望の方

👉 希望校が決まり次第

奨学金制度や融資など、教育支援資金以外の給付や貸付が利用できるか確認する

（高等学校就学資金貸付制度、日本学生支援機構奨学金、母子寡婦福祉資金等）

申請し利用しても足りない、または利用が困難

貸付対象・・・

- ① 兵庫県内（神河町内）に居住中で、同一地域に6カ月以上居住している。
- ② 低所得世帯（世帯収入が、町民税非課税程度、または生活保護基準の1.8倍程度以下）
- ③ 進学、在学にあたり、その学費捻出の為、他からの融資を受けることが困難であったり、融資を受けても足りない世帯。また、世帯内で債務整理等の手続きをしておらず金融機関に多額の負債がない。

👉 社協に一度ご相談ください。

TEL 32-2303

◆この貸付金は、貸付を受ける借受人は、学生本人となり（連帯借受人、連帯保証人が必須）、借り入れの相談時から返済（償還）完了に至るまで、社協と民生委員がその支援に関わります。

社協には、低所得世帯の学生に対して、高等学校や大学等への入学時や在学中に必要な費用（学費等）を貸し付けることにより、その就学や将来の就労を支援する「教育支援資金（生活福祉資金）」があります。尚、この制度の申請にあたっては、他の融資、給付制度の利用や相談が必要となり、いくつかの条件があります。

「進学してもっと学びたい。将来の夢をかなえたい。」
そのあなたの気持ちも応援します！

教育支援資金の紹介

『すくすくと 大きくな~れ!』



ゆうだい
立岩 侑大 くん (寺前)

立岩 友之さん宅のお子様

「笑顔いっぱい、元気いっぱい育ててね！」

1歳の赤ちゃんと家族の写真を募集中 次号掲載締め切り…3月5日(木)

1歳のかわいい赤ちゃんとそのご家族の写真を、社協広報紙で町内の皆さんに紹介いたします。ご希望の方は、写真またはデータを社協窓口までお持ちください。Eメールでも受け付けします。なお、コメント用紙は神河町社協ホームページからでもダウンロードできます。

家族みんなで挑戦!!しゃきょうパズル

応募先 〒679-2414 神河町栗賀町 630
神河町社協「パズル係」
Eメール k-syakyo@kcni.ne.jp

応募締切 3月5日(木)

①から⑤にある空白を埋め、太枠の5つの文字をうまく並び替えると、ある言葉となります。

答えが分かった方は、1、クイズの答え 2、住所 3、氏名 4、社協かみかわの感想、もしくは一番興味を持った記事をご記入の上、ハガキまたはEメールでご応募下さい。正解者の中より抽選でクオカードをプレゼントします。

- ① 冬になると首に巻いて寒さをしのぐものと言えば“ー”。自分で編んだオリジナルなんてのは素敵ですね。
- ② ちょっと簡単かな?ことわざの問題。
“の顔も三度”
- ③ 大相撲で、烏帽子をかぶり、軍配うちわを持って勝敗を判定するのは“”さん。
- ④ プロ野球でよく使われることばです。FAって何の略? “フリーージェン”
- ⑤ 二十歳になられたみなさんへ。将来のために、必ず“こみんなん”に忘れず加入しましょう。



☆ヒント：今年は「西南西」だそうです。



前号の答え『たからくじ(宝くじ)』

◎当選者 中井幾代さん(猪篠)



このついでに使用された竹筒は、町内の各地区の老人クラブを中心に呼びかけとる約550本集まったもので、『ついで』が行われました。

このついでで使用された竹筒は、町内の各地区の老人クラブを中心に呼びかけとる約550本集まったもので、『ついで』が行われました。

去る1月17日、阪神・淡路大震災から20年目を迎えた神戸市の東遊園地において、犠牲者の追悼と震災から生まれた絆を語り継いでいくために『1・17のついで』が行われました。

日はこれらで、「1995.1.17」と大きく描かれました。またろうそくは、11月に開催した1・17キャンドルサポーターで作製されたものと井上明美さん(柏尾)からのご提供頂いたものと併せて約250個になり、明かりが灯されました。竹筒やろうそくをご提供頂いた皆様のあたたかいお気持ちに感謝いたします。

神河町で作製された竹筒・ろうそくが『1・17のついで』に活用されました

感謝のお知らせ (11月20日～1月19日)(敬称略・受付順)

【善意銀行】

氏名	地区	内容
奥平 辰生	新野	供養として
片岡 仁	寺前	供養として
木村 賢一	東柏尾	供養として
吉岡 義一	中村	供養として
岸田 廣身	根宇野	供養として
吉岡 史博	福本	供養として
前嶋 茂徳	栗	供養として
J A兵庫西 寺前支店・栗賀支店	寺前	福祉のためにふれあい 祭りバザー収益金
馮 永芳	猪篠	供養として
岩田 真也	猪篠	供養として
横田つゆ子	越知	福祉のために
高木 智恵	大畑	福祉のために
佐伯勇美男	東柏尾	供養として
荒木 勝	比延	供養として
太田 和代	寺前	供養として
大久保 伸介	本村	供養として
森 美智子	山田	供養として
匿名		福祉のために
合計		645,400円

善意銀行の預託金は、町内小中学校・高校の福祉教育活動やボランティアの助成金、高齢者などへの給食サービスの材料代、地域づくり助成金などに使われています。

12月2日、阪神淡路大震災の年から続けられている神戸ルミナリエ（ハートフルデー）へ、体にハンディのある方と一緒に見学に行ってきました。

会場はあたたかい光の世界に包まれ、とても幻想的でした。

震災で犠牲となった方を思い浮かべ、祈っておられる方を何人も見かけるなか、震災当時の自分を振り返りながら、神戸の街を後にしました。



社協相談所カレンダー

(秘密厳守・相談料不要)

月	日	心配ごと相談 毎月第2金曜日 13:00～16:00	法律相談 偶数月・第4水曜日 13:30～17:00
2	13	大河内保健福祉センター	—
	25	—	神崎支庁舎
3	13	神崎支庁舎	—

【収集ボランティア】 (古切手・ベルマークなど)

- ・石堂 明美 (鍛冶)
- ・内藤 美里 (栗賀町)
- ・鷲田 千枝子 (上小田)
- ・共栄ゴルフ工業(株)(市川町)
- ・谷元 利子 (為信)
- ・前嶋 眞知子 (寺前)
- ・播州そばの学校 (市川町)
- ・坂元 隆子 (栗)
- ・はりまハングル研究会 (市川町)
- ・(有)秋山商店 (中村)
- ・太田 和代 (寺前)
- ・役場税務課
- ・松尾 和美 (中村)
- ・藤原 公子 (為信)
- ・匿名 3名

【物品預託】

- ・衣類 内藤 美里(栗賀町)
 - ・ギフトカード 伊達直人
 - ・ガスコンロ (株)タテイワ
 - ・介護用品 佐伯勇美男(東柏尾)
 - ・介護用品 太田 和代(寺前)
 - ・介護用品 匿名
 - ・衣類 匿名
 - ・衣類 匿名
- ありがとうございました

かみかわペンリレー 19人目



町内の皆さんを一つの輪でつなげたいと思います。今回取材を受けてくださった方が、次の広報紙に載る方を紹介して下さる形式です。

〈中野由紀子さん(東柏尾)からの紹介〉

にしはた いくこ
西畑 伊久子 さん

[写真左] (杉)

質問：最近、うれしかったことと言えば？

答え：実家の父(88歳)と富士山方面へ旅行したことです

質問：あなたが“幸せだな”と実感するのはどんなときですか？

答え：主人と愛犬といっしょにドライブに行く時

質問：“今年、私はこれをやる！”と決めたことがあれば教えてください

答え：ダイエットと体調管理

質問：暮らしの中で昔と大きく変わったと感じることは？

答え：一つは子どもが独立し、姑が亡くなり家族が減ったこと。それと人のお世話をする時間ができたこと。

質問：神河町内でお気に入りの場所やお店を教えてください

答え：大黒茶屋のしだれ桜。他の桜より少し遅く満開になります

質問：もし何でもかなう魔法があれば、さて、何を手に入れますか？

答え：寿命まで健康な身体

質問：まちの人たちへのメッセージをどうぞ

答え：明るく住みやすい神河町の手助けが少しでもできたらいいです

〈皆様から頂く会費や共同募金などで実施しています。〉

どちらの相談も前日までにご予約ください。

* 心配ごと相談…普段の困りごとや心配ごと等、行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員が相談に応じます。

* 法律相談…弁護士が相談に応じ、相談時間は1人20分間です。